



# 「保険でより良い歯科医療を」 愛知連絡会ニュース

「保険でより良い歯科医療を」  
愛知連絡会  
〒466-8655  
名古屋市昭和区妙見町19-2  
愛知県保険医会館内  
TEL ; (052) 832-1349  
FAX ; (052) 834-3584

## 「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会 第10回定期総会開催のお知らせ

**5月29日(日) 午前10時~12時**  
**愛知県保険医協会伏見会議室**

名古屋市中区錦一丁目13-26 名古屋伏見スクエアビル9F

- ・ 総会議事 10:00~10:30
- ・ 記念講演 10:30~12:00

### 【記念講演】

**健康づくりは0歳から  
~正しい咬み方は一生の宝**

**増田純一 氏** (佐賀県武雄市・マスダ小児矯正歯科医院 院長)



**参加費  
無料**

私たち臨床医は大半が形態の修復に時間を取られ、口腔機能については保険点数の裏付けもなくあまり関心がないようです。今回、小児歯科の立場から咀嚼機能の獲得からウ蝕等による機能への影響など、離乳食期から乳歯列期までの大切さなどを機能と形態を中心にお話したいと思います。

## 「保険で良い歯科医療」の実現を求める請願署名 愛知連絡会で **4万筆超**を集め国会に提出 ご協力ありがとうございました

「保険で良い歯科医療」の実現を求める  
請願署名集約状況

<b>合計</b>	<b>40,785筆</b> (対6万筆目標比68%)
愛知県保険医協会	21,827筆
企業・団体の協力	7,766筆
歯科技工所の協力	1,665筆
あいち高齢者大会	422筆
愛商連、年金者組合など	1,517筆
愛知民医連	7,588筆

「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会では、昨年5月から12月末まで患者窓口負担割合の引き下げと保険適用範囲の拡大を求めて、請願署名運動に取り組みました。

愛知連絡会が集めた署名数は合計で40,785筆で、6万筆の目標に対して68%の到達となりました。目標は達成できませんでしたが、全国で29万筆を超える署名が集まり、その運

動の中で、愛知連絡会は全体の約14%を集め運動の牽引役を果たしました。

愛知の分の署名は、1月21日の国会要請行動で14人の地元国会議員に紹介を引き受けていただき、提出していただきました。

同日開催された「保険で良い歯科医療を求める国会内集会」では、自民、民主、公明、維新、共産、無所属の衆参国会議員25人が参加しました。

(紹介議員、国会内集会の様子は次ページに掲載)

# 4月歯科診療報酬改定 —社会保障費削減の財源捻出のため、厳しい改定に

2016年の4月診療報酬改定は、医療費全体では実質1.43%のマイナス改定となりました。これは、「社会保障と税の一体改革」のもとで、社会保障費の自然増を抑え込むため、今回の診療報酬改定が初年度削減目標の1,700億円の財源確保のターゲットにされたため、マイナス改定は安倍政権下で2回連続となりました。

歯科本体（技術料部分）の改定率は、プラス0.61%とわずかに引き上げられましたが、前々回のプラス1.70%の改定率と比較しても3分の1程度と厳しいもので、歯科医療の厳しい状況を打開するには程遠いと言わざるを得ないのが実状です。

今回の改定の特徴は、入院から在宅へ、医療から介護へという方向が強く打ち出され、地域での医療・介護の体制をつくる「地域包括ケアシステムの推進、医療機能分化・強化、連携の推進」の視点での改定がひとつの特徴となっています。

歯科では、新たな施設基準を満たした診療所が届出できる「かかりつけ歯科医強化型歯科診療所」が設けられました。しかし、これは現状で歯科開業医の約1割程度しか基準を満たすことができない高いハードルです。また、その医療機関で算定する点数は、比較的高く設定され誘導が図られていますが、関連する検査や処置などが包括され、別には算定できないものとなっています。施設基準が整わない歯科診療所との選別で、

医療機関の差別化、機能分化と包括評価が強まっています。

患者の受け皿となる在宅歯科医療でも、在宅歯科医療専門の医療機関を認めるとともに、施設基準を満たした「在宅療養支援歯科診療所」とそれ以外の歯科診療所との算定点数の差を広げ、機能分化を強める内容となっています。

高齢者の口腔機能に着目した評価としては、摂食機能障害を有する患者に対する継続的な管理を評価する在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料や、歯科のない病院の栄養サポートチームへの参画、介護保険施設の食事観察や会議に出席した場合に算定する点数が新設され、今後の歯科医療の役割が広がる改定も行われています。

今次改定項目の中には、う蝕重症化予防に関連する処置や歯内療法・歯周治療に関する処置、有床義歯などに関する点数が、わずかに引き上げられました。また、天然歯との色調を合わせるために行う歯冠補綴時色調採得検査や舌接触補助床の患者に対する舌圧測定が保険導入され、硬質レジンジャケット冠とCAD/CAM冠については、歯科用金属を原因とする金属アレルギーを有する患者で、医科からの診療情報提供に基づく場合に、大白歯への保険適応が拡大されているなど、私たちの運動が一定反映したと評価できるものもあります。

## 1/21 「保険で良い歯科医療の実現を求める 国会内集会」開催

1月21日（木）に「保険で良い歯科医療の実現を求める国会内集会」が参議院議員会館で開催されました。

集会には、自民、民主、公明、維新、共産、無所属の衆参国會議員25人（本人11人、代理14人）が参加し、あいさつを行いました。また9人の国會議員からメッセージが届けられました。

集会では、各地の参加者から報告・発言が行われました。

### （山梨県・Oさん／600筆の署名を集めた患者さん）

自らの足で協力のお願ひにあがり、言葉をかまし、主旨を伝えたことで、自分と同じ思いを持つ人の多さを知った。また、さまざま

な気持ちを直接聞くことができた。そんな方の思いや願ひを届けるためにここに来た。歯科治療を保険適用してほしい。子どもの学校から毎年「歯並びが悪いから治療してほしい」との通知を受け、治療したい気持ちがいっぱいだが、収入の低い自分には厳しい。子どもの笑顔をみるたびに罪悪感を抱いている。みなさんの力で、今の制度を変えてほしい。私も力になりたい。

### （愛知県・大藪憲治会長）

歯科の署名だが、今回は医科の先生がよく集めてくれた。署名を集めてどうなるのかとの声を聞くが、愛知では地元紹介議員は10人

いる。我々の長年の運動によって、厚労省も「歯科の充実で全身の健康も改善することにエビデンスはあるのか」などと言わなくなった。今後も社会保障としての「保険で良い歯科医療」を訴えていきたい。

### 「保険で良い歯科医療」の実現を求める請願署名紹介議員（愛知分）

- 民主党（衆）大西健介、鈴木克昌、古川元久、岡本充功、中根康浩、近藤昭一
- （参）大塚耕平、斎藤嘉隆
- 維新の党（衆）牧義夫、
- 日本共産党（衆）本村伸子、島津幸広
- （参）小池晃、井上哲士
- 改革結集（衆）重徳和彦

※ 敬称略、順不同

## 愛知県保険医協会・よい歯健康デー

# 「歯の何でも電話相談」は4月17日に実施

愛知県保険医協会では毎年4月18日を「よい歯健康デー（ヨイハデー）」として、電話相談などの取り組みを行っています。



昨年の電話相談の様子

今年は4月17日午前10時から午後3時まで電話相談を行います。お口の悩みや歯科治療に関する質問をお寄せください。